

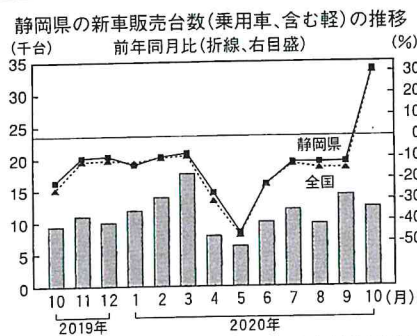
組合員の皆さま、明けましておめでとうございます

コロナ禍に明け暮れた令和2年が終わり、コロナを打破して次なる成長と発展へと向かう令和3年が始まりました。

新型コロナウイルス感染症は未だ終息が見えない状況ですが、県内の自動車販売や鋳工業生産指数は持ち直しの動きが見られ、経済活動は徐々に平常を取り戻しつつあるようです。今年の頑張りが将来の発展へとつながる「令和3年」、ともに力を合わせて頑張りましょう。

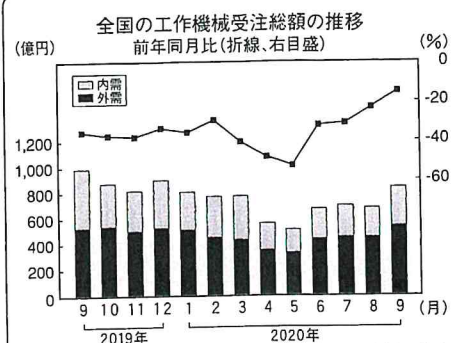
以下は静岡経済研究所の景況レポート「静岡県の経済指標の動き」からの抜粋です。

謹賀新年



資料: (一)日本自動車販売協会連合会、(二)全国軽自動車協会連合会

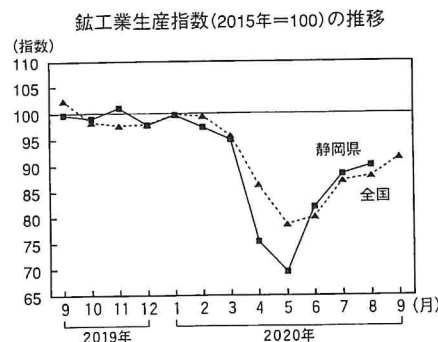
10月の静岡県内の新車販売台数(乗用車、含む軽自動車)は12,390台で、前年比+31.5%と、前年の消費増税による販売減の反動もあり、13カ月振りに前年を上回った。車種別では、普通・小型が6,998台(前年比+40.9%)で13カ月振り、軽乗用車も5,392台(同+21.0%)で11カ月振りのプラス。



資料: (一)日本工作機械工業会

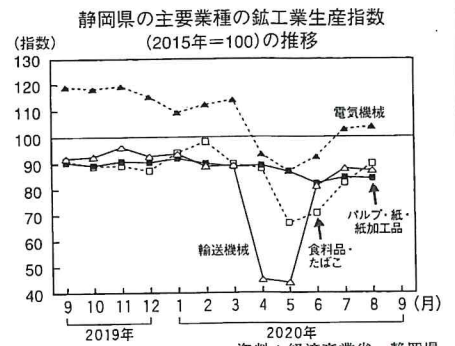
9月の工作機械受注総額(全国)は840億9,900万円で、前年比△15.0%と24カ月連続で減少した。前月比は+23.7%と2カ月振りに増加した。

内訳は、内需が302億7,000万円(前年比△34.3%、前月比+31.2%)で、外需は538億2,900万円(同+1.7%、同+19.9%)となった。



8月の静岡県の鋳工業生産指数は90.1(季節調整済、2015年=100)で、前月比は+1.8%と3カ月連続で上昇するも、前年比(原指数)では△10.2%と、依然として回復の足取りは重い状況にある。

主要業種(季節調整済)をみると、電気機械が103.8(前月比+0.9%)と



資料: 経済産業省、静岡県

唯一100を超えたものの、食料品・たばこ89.8(同+8.7%)、輸送機械87.2(同△0.9%)、パルプ・紙・紙加工品84.2(同△0.5%)は100を下回り足踏み状態が続いた。

その他の業種では、汎用・生産用・業務用機械83.5(同+6.4%)、化学108.7(同+2.1%)などが上昇した。

(出典元) 静岡経済研究所発行



丑